



2024年12月期 第1四半期

決算説明会

2024年5月13日

ヤマハ発動機株式会社 (証券コード: 7272)

東京モーターサイクルショー
注目の高い「MT-09 ABS」「XSR900GP」などを展示



2024年12月期 第1四半期決算

取締役 設楽 元文

業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

当社は2024年12月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用いたしました。
そのため、次ページ以降は2023年・2024年ともにIFRSに基づき作成しております。

決算ポイント

実績

増収・増益

- 売上収益 6,421億円（前年比 106%）・営業利益 780億円（同 103%）
- 二輪車：プレミアムモデルの出荷増加により、
増収・増益・営業利益率改善
- マリン：船外機の出荷減少により、減収・減益
- ロボティクス：低迷する中国市況に変化なく、減収・減益

今後の展望

外部環境

- 世界的な金融引締めによる景気不透明感
- 各社供給改善による競争環境の戻り
- 海上運賃下落、原材料高騰は一服

当社事業

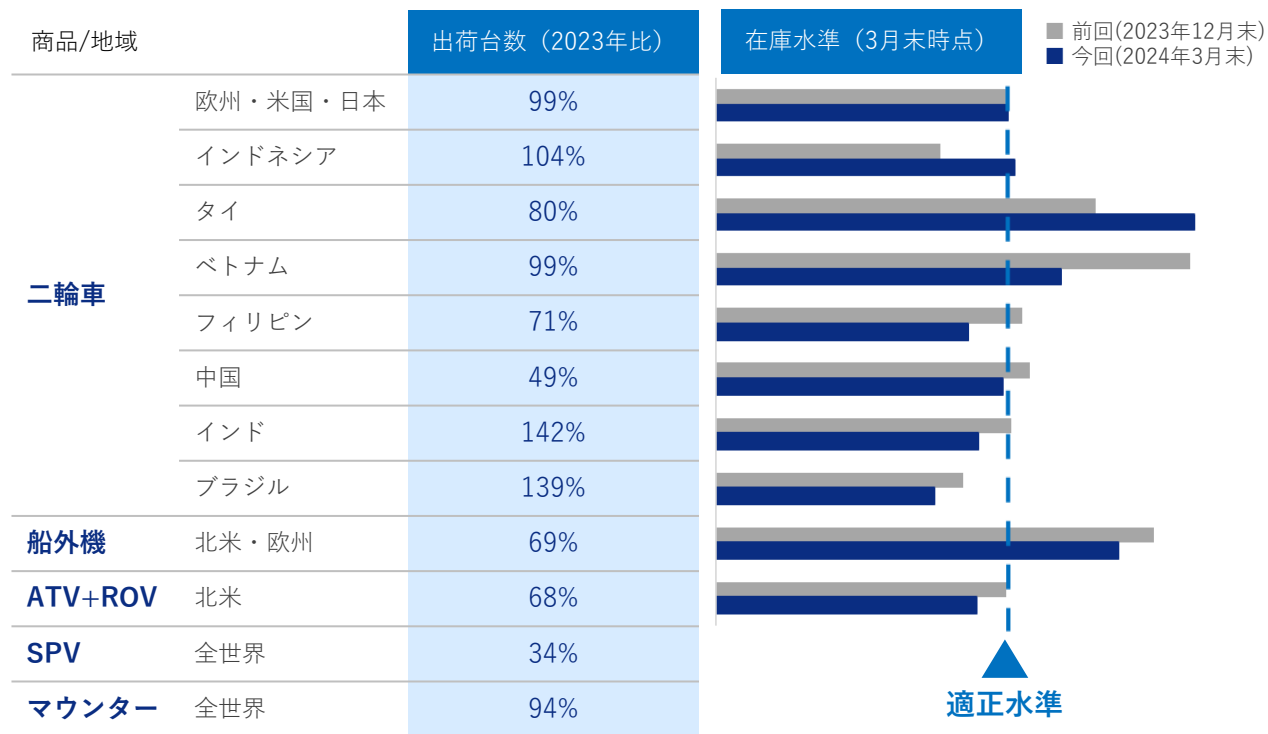
- 新興国二輪車はインド・ブラジル・インドネシアが牽引
- 船外機は新興国市場で需要堅調、先進国市場の大型需要は安定
- 需要・販売状況に応じ、各商材の在庫調整を着実に実施

収益力強化

- 製造・販売コストのコントロールと生産効率改善の取り組み強化
- 価格競争と一線を画したブランド・商品性のアピール

主要商品別 当社出荷台数・在庫（1-3月実績）

ブラジル・インド・インドネシアで二輪車の出荷台数が増加。
市況に鑑み生産調整を実施し、在庫の適正化が進捗。



二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫

二輪車事業が牽引、円安のプラス影響もあり増収・増益。

(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q	前年比	2024年 当初計画
売上収益	6,065	6,421	106%	26,000
営業利益	759	780	103%	2,600
営業利益率	12.5%	12.1%	-0.4 pts.	10.0%
当期利益 ^{※1}	497	560	113%	1,750
EPS (円) ^{※2}	48.95	56.61	116%	176.49
(\$/€)	132/142	149/161	—	140/150

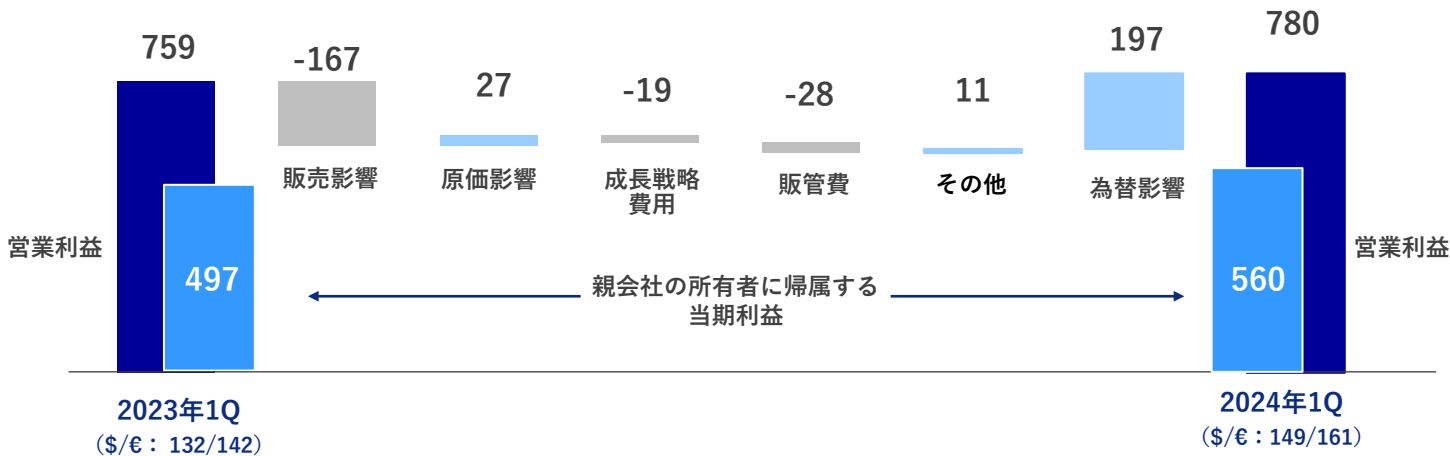
※1：親会社の所有者に帰属する当期利益

※2：当社は、2024年1月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しました。EPSは株式分割後の自己株式を除く発行済株式総数をもとに計算しています。

2024年1Q 営業利益変動要因

コストダウン活動と為替影響により増益。

(億円)



販売影響内訳

規模増減	-78
その他	-148

原価影響内訳

プライシング	24
未実現利益	-2
金融サービス	37

コストダウン	43
コストアップ	-16

販管費内訳

人件費	-51
物流費	-1
営業費用	-9
その他	33

その他内訳

持分法投資損益	-7
その他	18

カーボンニュートラルへの対応



気候変動分野の情報開示でCDP最高評価Aスコアを獲得

フォーミュラE規格パワートレインの開発供給でLolaと技術提携

最先端の電動技術開発に取り組み、ヤマハ発動機全体の電動技術の底上げを目指す



事業別説明

事業別 売上収益・営業利益

売上収益

(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q	前年比
ランドモビリティ	4,019	4,306	107%
(内) 二輪車	3,493	3,986	114%
(内) RV	377	230	61%
(内) SPV	149	89	60%
マリン	1,455	1,419	98%
ロボティクス	198	192	97%
金融サービス	179	269	150%
その他	213	235	110%
全社	6,065	6,421	106%

営業利益

(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q	前年比
ランドモビリティ	364	500	137%
(内) 二輪車	293	533	182%
(内) RV	59	-25	-
(内) SPV	12	-8	-
マリン	369	255	69%
ロボティクス	-4	-37	-
金融サービス	25	61	242%
その他	5	1	26%
全社	759	780	103%

(\$/€) 2023年 (132/142) 2024年 (149/161)

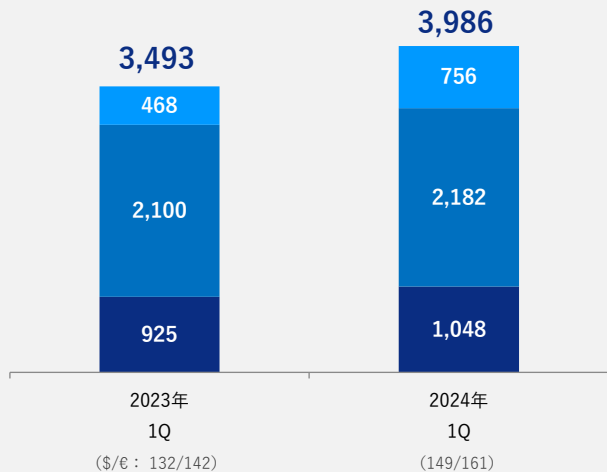
二輪車事業

全地域で増収。
プレミアムモデルの供給改善により営業利益率改善。

営業利益率 **8.4%** **13.4%**

売上収益 (億円)

■ 先進国 ■ アジア ■ 中南米・その他



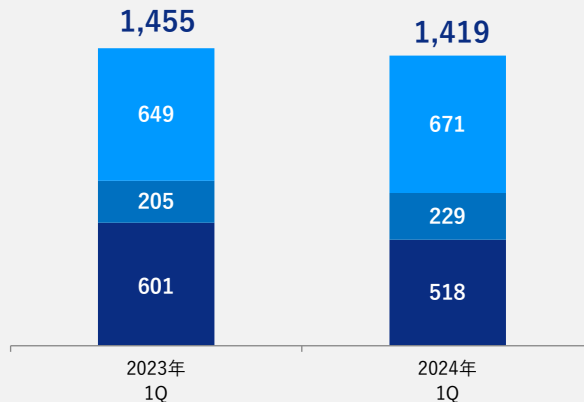
マリン事業

船外機新モデル好評も、需要減少影響で減収・減益。
在庫調整のための減産により、営業利益率悪化。

営業利益率 **25.4%** **17.9%**

売上収益 (億円)

■ 船外機・北米欧州 ■ 船外機・その他
■ WV・ボート等



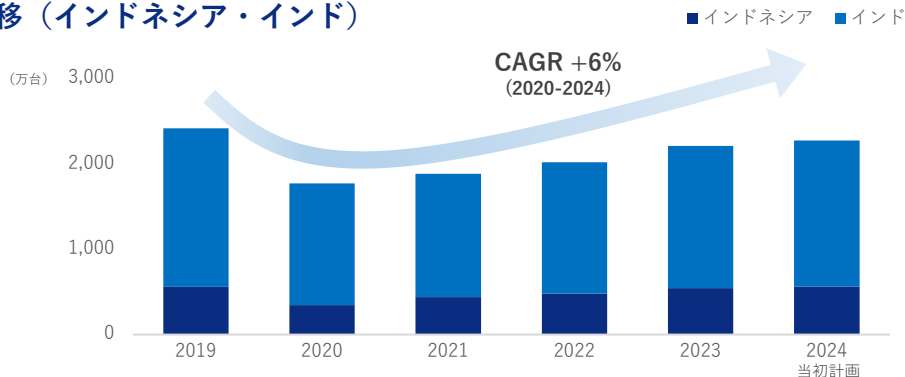
インドにおけるファン向けイベント 年間延べ2万人以上が参加



— FZ-X Ride Free Overnight Tour in Mumbai

二輪車プレミアム戦略 主要国の状況

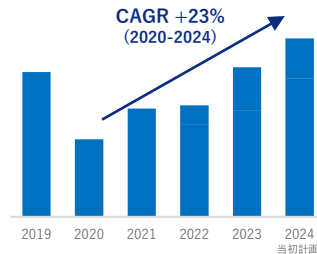
総需要推移（インドネシア・インド）



インドネシア

- ・ MAXiはプレミアムカテゴリにおいて不動の人気
- ・ 二本目の柱として投入したCLASSYが順調に成長

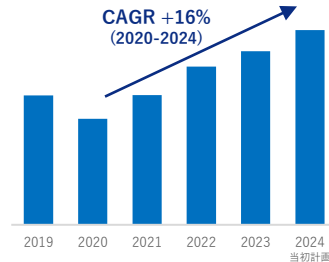
MAXi・CLASSYカテゴリ 出荷台数



インド

- ・ 155ccクラスのスポーツタイプに注力
- ・ Z世代をターゲットに”ヤマハブランドへの憧れ”を醸成

スポーツカテゴリ 出荷台数

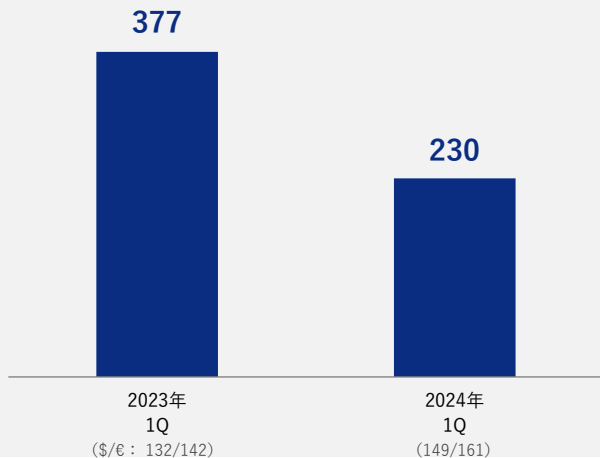


RV事業

市場在庫増加により価格競争が激化。
出荷台数減少、販管費増加により減収・減益。

営業利益率 **15.7%** **-11.1%**

売上収益 (億円)

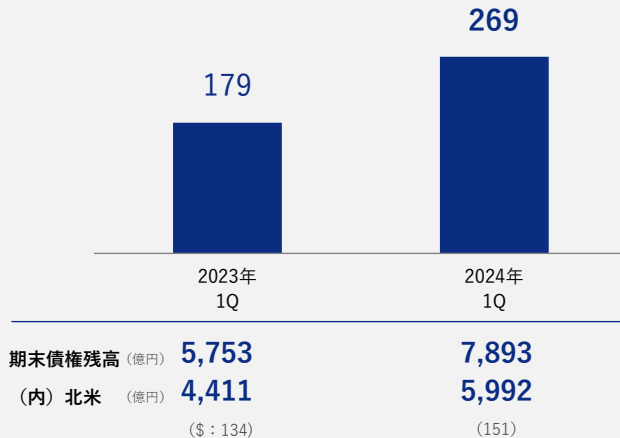


金融サービス事業

北米・ブラジルで債権増加。
金利収入の増加、スプレッド改善により増収・増益。

営業利益率 **14.1%** **22.8%**

売上収益 (億円)



SPV事業

市場在庫調整が継続し販売台数減少、減収・減益。
需要動向に大きな変化はなく、調整局面が続く。

営業利益率 **8.1%** **-8.5%**

売上収益 (億円)

149



2023年
1Q

(\$/€ : 132/142)

89



2024年
1Q

(149/161)

ロボティクス事業

販売減少、販管費増加により減収・減益。
需要回復に備え、生産準備・販売体制を強化。

営業利益率 **-2.1%** **-19.4%**

売上収益 (億円)

198



2023年
1Q

192



2024年
1Q



2024年1Q 地域別台数・売上収益

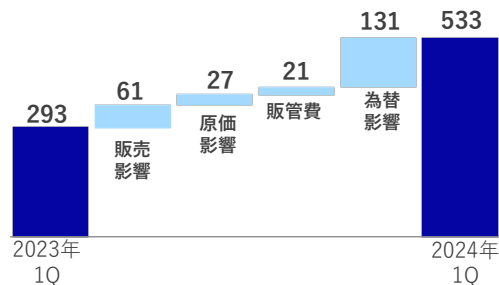
二輪車出荷台数

(千台)	2023年 1Q	2024年 1Q	前年比
日本	21	18	84%
北米	26	26	99%
欧州	55	58	107%
アジア	1,028	949	92%
その他	144	177	123%
全社	1,274	1,228	96%

二輪車売上収益

(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q	前年比
日本	114	102	89%
北米	236	283	120%
欧州	528	620	117%
アジア	2,100	2,182	104%
その他	515	800	155%
全社	3,493	3,986	114%

営業利益変動要因



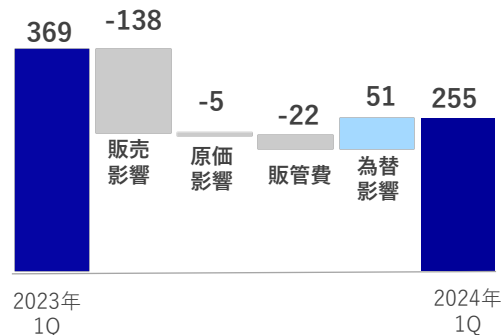
(\$/€) 2023年 (132/142) 2024年 (149/161)

2024年1Q 地域別売上収益

マリン売上収益

(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q	前年比
日本	75	63	84%
北米	913	898	98%
欧州	198	154	78%
アジア	95	106	111%
その他	173	199	115%
全社	1,455	1,419	98%

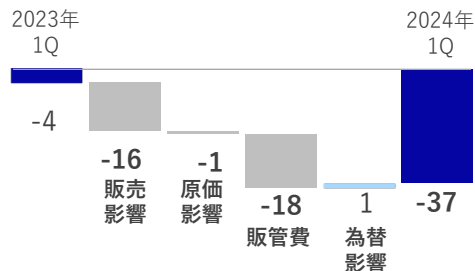
営業利益変動要因



ロボティクス売上収益

(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q	前年比
日本	58	56	96%
北米	6	10	168%
欧州	22	12	54%
アジア	111	110	100%
その他	1	3	271%
全社	198	192	97%

営業利益変動要因



(\$/€) 2023年 (132/142) 2024年 (149/161)

財務状況

(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q
営業活動によるCF	38	-120
投資活動によるCF	-230	-321
フリーCF	-192	-441
財務活動によるCF	560	562

設備投資	181	207
減価償却費	175	205
研究開発支出	252	270

(億円)	2023年 12月末	2024年 3月末
現金及び現金同等物 期末残高	3,470	3,747
有利子負債 ^{※1} 期末残高	8,438	9,792
ネットキャッシュ	-4,968	-6,044
ネットキャッシュ（金融サービス事業除く）	-226	-447

※1 有利子負債にはリース負債を含めておりません。

為替影響（対前年）

(億円)	1Q実績				2024年当初計画			
	US \$	EURO	その他	合計	US \$	EURO	その他	合計
粗利益にかかる為替影響（本社）	77	38	11	126	-11	-22	2	-31
粗利益の換算影響（海外子会社）	36	23	69	128	-7	-12	70	51
販管費の換算影響	-32	-18	-21	-71	5	9	-38	-24
その他の換算影響	0	0	12	12	0	0	1	1
営業利益への為替影響	81	43	73	197	-13	-26	35	-4

(億円)	US \$	EURO	US \$	EURO
為替感応度				
1円の変動が営業利益に与える影響額		5	2	16
				11

